

## 第46号

## スポーツ推進委員だより

宮崎市スポーツ推進委員協議会



## 山本会長より（平成30年度を振り返って）



皆様におかれましては、地域住民の健康増進と地域コミュニティづくりにご活躍の事と感謝申し上げます。皆様の御協力により、平成30年度事業等が、滞りなく終わろうとしている事にお礼申し上げます。

残念ながら、各事業への参加者が減少傾向にあります。全員で参加者増へ向け、対応策を考える必要があると思います。私達が、スポーツを通して地域のコミュニティづくりに努力し、スポーツ実施率向上に努めて行きましょう。事務局体制が変わりますが、今以上に活動は活発なものになる事を希望します。

ご支援ご協力有難うございました。

## 松元事業部長より（平成30年度を振り返って）



今年度も皆様のご協力を頂き、平成最後の事業を終了することができました。

ミニバレーボール大会、ビーチボールバレー大会、駅伝大会、グラウンドゴルフ大会、タグラグビー大会（大学生主体）。どの大会も実施するまでは大変ですが、思い出深いものになりました。

これも皆様の「一緒にやろう」という思いから、成し遂げられたものだと思います。

どの地域も、人集めに苦勞されていることと思います。大会を継続するには、その地域や、一人が苦勞するのではなく、宮崎市全体で、どうしたら良いか知恵を出し合う時期にきているようにも思われます。今後の地域活性化の要因のひとつに捉えて頂き、笑いの絶えない健康あふれる地域のために、今後も事業部を活用ください。

## 松竹企画部長より（平成30年度を振り返って）



企画部の役割は・・・これからのスポーツ推進委員の役割と社会的な意義を考えることでした。30年度は3回の例会を通じて、皆さんと共にそのことについて考える予定でした。第1回例会は、第1回自主研修と共同開催で、スポーツ推進委員のあり方を再確認し、第2回目は、秋の開催が実現できず年度末に開催となり、事務局の行政への返還とスポーツ推進委員協議会の課題を全員で話し合いました。

年間を通じて企画部としての役割を十分に果たすことが出来ず、皆さんには申し訳なく思っています。

ただ、第2回例会で、現状の宮崎市スポーツ推進委員と協議会のあり方を、全員協議できたことは価値があったかと思えます。

十分な働きが出来ませんでしたが、1年間お世話になりました。次年度の皆さんのご活躍をお祈りしています。

## 井上研修部長より（平成30年度を振り返って）



スポーツは健康増進、体力維持のみならず、地域づくりやコミュニティづくりに欠かせないものとなっております。研修部では、地域スポーツの一翼を担う推進委員の意識向上を目指すと共に、会員相互の親睦を図ることを目的としております。

スポーツ推進委員として6年、研修部長3年の私は、まだまだ未熟ですが、ベテラン諸先輩方の指導や優秀な部員のおかげで、ここまでこられたことに感謝いたします。

これからもスポーツ推進委員の一員として、頑張り続けたいと思います。どうぞ、よろしく願いいたします。

## 第35回地区対抗駅伝競走大会

1月27日(日) 一ッ葉海浜公園

昨年は、海からの風が強く、ランナーを苦しめた大会でしたが、この日の一ッ葉海浜公園は、気温は低かったものの、風は弱く、良いコンディションで迎えることができました。女子の部は、最近5年間で4度の優勝を誇る大淀が、3区でトップに立ち、その後も安定した強さで1位を守っていました。しかし、最終6区で大宮Aが逆転優勝を飾りました。男子の部は、優勝候補大淀が、2区までは住吉、生日、佐土原Aに後塵を拝しましたが、3区でトップに躍り出ると、4区から最終6区までは区間賞を獲る圧巻の走り、大会3連覇を果たしました。どのチームも寒さを吹き飛ばす軽快な走り、新春の一ッ葉海岸は歓声に包まれていました。(広報部 栗原)

### 男子

- 1位 大淀 (38分53秒)
- 2位 大塚A (40分47秒)
- 3位 大宮A (40分51秒)

### 女子

- 1位 大宮A (47分34秒)
- 2位 佐土原A (48分22秒)
- 3位 江平 (48分41秒)



## 第2回自主研修

2月23日(土) 西部地区農村環境改善センター

今回のテーマは、「ニュースポーツを楽しもう!」ということで、スポーツの指導に携わる私たち推進委員が一緒になってニュースポーツを楽しむという内容でした。

マインディスティック・カーリング、ラダーゲッターはみんなで順番に体験しました。初体験の方もいて、推進委員同士で、投げ方や転がし方など工夫し合い、良い得点が出るまで何度もチャレンジしていました。

キンボールはグループ対決だったので、かなり盛り上がりました。張り切りすぎて壁に激突する人や、久しぶりの運動量に「ちょっと待った!」と息を整える人の姿もあり、見ている方も楽しめました。ただ、キンボールはボールが大きくて重たいので、小学校高学年からでないと思いました。

今回は、大学生の推進委員も参加し、若者からそうでない(?)人まで童心に戻って、みんなで楽しめた良い研修でした。その後の懇親会のビールが、いつもよりかなり美味しかったですねえ。(広報部 山元)



## 第17回地区対抗グラウンドゴルフ大会

3月9日(土) 生日の杜運動公園

班会の時は、大会当日の天候が心配され、準備もできていない状態でしたが、当日は風もなく絶好の天候に恵まれました。班員は少なかったのですが、会場設営はみんなの協力により、開始時間までに準備できました。

参加チームは、昨年より6チーム減り、31チームでした。ホールポスト近くに打ったボールのもとに、自慢げに駆け寄る選手たちの光景は、とても楽しそうで、健康そのものでした。(広報部 安藤)

### 団体の部

- 1位 江平B (江平) 297点
- 2位 源藤 (大淀) 298点
- 3位 江平A (江平) 298点

### 個人の部

- 1位 中牧 義信 (生日) 50点
- 2位 枇杷 静喜 (倉岡) 54点
- 3位 川越 哲雄 (江平) 54点





2つの議題について事務局・行政双方から説明があり協議した。

## 1) 受託事業について

① 4事業（ミニバレー，ビーチボールバレー，駅伝，グラウンドゴルフ）の受託事業を行政（市スポーツランド推進課）に返還する（決定）。

②

イ.事務局を市担当課内に置き，受託事業，協力事業，その他全て事務処理等は行政担当者が行う。

ロ.協議会会費受入れ，上記以外の協議会単独事業等は協議会会計事務担当者が行う。

（継続審議：全て1本化し，行政担当者が行うかどうか）

※②-ロに決定すれば，行政が協議会名義で新たに口座を開設し，別通帳で運営する。

現在の協議会名義の残額，今後の会費受入れ分は協議会会計事務担当者が管理する。

（継続審議：全て1本化し，行政担当者が行うかどうか）

③会計についても事務処理同様，分担に沿って対処する。

④協議会規約の一部改正（事務局設置場所，事務局長等）

⑤行政が行う事務専任担当者は，協議会推進委員より雇用したい（雇用条件提示あり）。

⑥協議会で購入してあるニュースポーツ用品は，行政が管理する

（利便性が悪くなるので協議会で再検討したい）。

## 2) 県スポーツ推進協議会退会について

色々な要望や問題点はあると思うが，市としては「今期及び来期中に脱退するような決定はしないで欲しい」との話があった。市スポーツランド推進課としても，今までの要望や，本日の資料等を基に交渉していくとの事。（県協議会に対して交渉する窓口は，あくまでも市協議会執行部である）

今回は多くの委員から様々な意見が出された。言いつばなしにならない様，自ら積極的に会の運営に参加しよう。協議会としての決定事項は，会員全員の総意として皆でバックアップしていくことが重要だ。

自分たちの立場が悪くなるのを承知の上で改革しようとしている執行部の思いも汲んで，推進委員一丸となり協力していきましょう。（広報部 本部）



## 退任者から



### 安藤定美さんより（佐土原）

平成9年6月に，佐土原町教育委員会から体育指導委員に任命され，15名で町内のスポーツ大会に携わるようになったのが始まりでした。宮崎市との合併により，100名余りの仲間となりました。都城市の石山観音池公園で，初めての宿泊研修会に，旧町からただ一人参加し，仲間入りさせていただきました。

振り返れば，21年間もスポーツ推進委員としてやってこられたのは，仲間や家族のおかげだと感謝しています。今後は地域の皆さんに寄り添いながら，スポーツの楽しさを伝えていきたいと思えます。ありがとうございました。

### 石田美智代さんより（瓜生野）

「スポーツ推進委員」という言葉すら知らないまま委員を受けました。講習会，研修会，市のスポーツ大会に参加して，役割の大切さや心得等学ばせていただきました。2期4年を楽しく続けられたのも，皆様が優しく教えて下さったおかげだと思っています。これからはスポーツを通じて，地域コミュニティづくりを頑張っていきたいです。

他にも多数の退任者がいると聞いておりますが，今回は広報部で活躍頂いたお二人からお言葉をいただきました。推進委員としての活動はもとより，広報活動でも戦力となっていたので，とても残念です。今後は，地区での活動の盛り上げ役として頑張ってくださいることと思います。

推進委員14名と行政1名が参加しました。大会テーマは「スポーツ推進委員が導こう 身体づくり地域づくりで健康長寿」～健康長寿「結」を合い言葉に～ 特別講演では、「私のボクシング人生」と題し、具志堅用高さん(元WBA世界ジュニアフライ級王者)の講演がありました。

## 今西カツ子さんと中武久美子さんが功労賞を受賞されました

この度功労賞を頂き、感謝の気持ちでいっぱいです。推進委員を続けてこられたのも、皆様のご指導ご協力があったからこそだと思っております。「スポーツ推進委員としての資質の向上、生涯スポーツの振興を図ることを目的とする」この目的と共に、一人でも多くの人にスポーツに親しんで頂けるよう協力できたことを嬉しく思います。これからも微力ではございますが、お手伝いできればと思っております。関係者の皆様にも深くお礼申し上げます。ありがとうございました。(今西)

功労賞を受け、今まで支えてくださった推進委員の仲間感謝します。18年の間に、体育指導委員からスポーツ推進委員に名称が変わり、その役割も変動してきています。しかし、スポーツの楽しさを地域の方々に伝えることは同じだと思います。障がいがあるなしに関係なく、誰でもスポーツを楽しめる機会や環境づくりに、これからも取り組んでいきたいと思っております。今後ともご指導よろしくお願ひします。(中武)



おめでとうございます！



## 第2回県スポーツ推進委員研修会兼初任者研修会

2月17日(日) KIRISHIMA ツワブキ武道館

午前中は、『スポーツ推進委員とは』と題し、全国スポーツ推進委員リーダー養成講習会を受講した4氏の講義を受けました。はじめに、杉元副会長(宮崎市)が、スポーツを振興させるこれまでの段階から、さらに進んで、スポーツを推進させていく段階にきているということをお話されました。次に、松竹企画部長(宮崎市)から推進委員はスポーツシーンを企画立案し、それを実施する能力が新たに求められているということをお話いただきました。そして岡本会長(延岡市)から推進委員に必要な資質は、専門的な知識やスキル、マネジメント能力、コミュニケーション能力、創造的な能力、姿勢が大切であることを学びました。最後に、甲斐副会長(延岡市)が、同市の活動と実態をお話されました。

午後は、『脳トレを知り、脳トレを生かして、生涯健やかに!』と題し、市民の森病院総合健診センターの川端利彦氏の実技講習がありました。加齢により筋肉が萎縮していく「サルコペニア」や、生活習慣病・要介護状態にならないために、日頃から運動する意識が大切。指を使った運動や、昔懐かしいジャンケン列車・ケンケンパ・手押し相撲などを少しアレンジした運動で、脳を働かせることによって体が温まる。**できないことをやろうとする時間を少しでも増やす**ことが脳トレになるということです。これなら地域でも、手軽に取り組めそうです。この研修を通して、たくさんの人たちがスポーツにより元気になるお手伝いをするのが、私たち推進委員なのだ改めて感じました。(広報部 栗原)

## 長友広報部長より



この一年間で、3回の広報誌を発行することができました。時には、急な原稿依頼にも拘わらず、快く応じてくださった方々に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

部会では原稿チェックはもちろん、毎回熱い議論が始まり、常に時間が足りない状態でした。しかし、この時間は、部員みんなが推進委員の今後を真剣に考えている貴重な時間だったと思います。私を支えてくれた、スタッフ全員に感謝いたします。今年度で退任する方がおりますので、このチームでの活動は今号で最後になります。次年度から新体制となり、新たなスタッフも加わり、更に活気溢れる部会になることと思います。そして、認知度アップのためにも、推進委員全員が広報委員として、意識して活動することが大事だと思います。

広報スタッフ：部長：長友ひとみ(江平) 副部長：山元美保(檉) 安藤定美(佐土原)、本部伴典(檉)

栗原和幸(大宮)、児玉麻衣子(住吉)、石田美智代(瓜生野)、永友啓之(東大宮)、前田明人(木花)